

フラッシュアップ研修会

第42回「フラッシュアップ研修会」を2024年9月14日午後に開催致します。

申込法： お手数ですが、

申し込みフォームより必要事項(氏名、ふりがな、卒業年度、卒業学科、メールアドレス、懇親会参加の有・無)記載して登録をお願いします。

*** 今回、定員30名です。(先着順)**

	日時	場所	テーマ
第42回	2024年9月14日 (土) 研修会13:30~16:00	かながわ労働プラザ 第4会議室	1. 卒業生講演：特定国立研究開発法人理化学研究所 内田 孝尚 氏 (S51 機械卒) 演題：データドリブン・マニュファクチャリングの時代 2. 先生講演：横浜国立大学大学院 大学院工学研究院 助教 黒瀬 築 先生 演題：沸騰・凝縮流の自励振動現象に関する研究

第42回「フラッシュアップ研修会」を2025年2月頃に開催予定です。

講演概要

卒業生	先生
データドリブン・マニュファクチャリングの時代	沸騰・凝縮流の自励振動現象に関する研究
<p>この四半世紀、3D/Digital/Virtualを用いた設計/開発/モノづくり環境となり、設計段階で設計仕様、製造要件、製造品質の検討、決定が可能となった。形状/パフォーマンス/制御アルゴリズム等をデジタル表現したバーチャルモデルをコアとしたデータドリブン・マニュファクチャリングは設計/開発/製造と教育も含めた社会システムを変貌させたビジネスモデルへ、大変革が進んでいる。データドリブン・マニュファクチャリングの背景と今後の展開を説明する。</p>	<p>並列流路の沸騰流では「不安定流動(各流路の流量が周期的に変動する現象)」が生じやすい。不安定流動は伝熱機器の性能予測を困難にするだけでなく、性能を低下させる恐れがある。一方で、高性能な冷却デバイスとして期待される「自励振動ヒートパイプ」は、作動流体の自励的な振動を利用して熱を輸送する。これらのように、流体の振動現象は、機器ごとにメリット、デメリットとなり得るため、その機構の理解と制御が重要である。本講演では、これらの相変化を伴う気液二相流の振動現象に関する研究を紹介する。</p>
特定国立研究開発法人理化学研究所 研究嘱託 内田 孝尚 氏 (S51 機械卒)	大学院工学研究院 システムの創生部門 助教 黒瀬 築 先生

講師略歴

内田 孝尚 氏

1976年3月 横浜国立大学機械工学科卒、博士(工学)
本田技術研究所退職後
(国研)理化学研究所研究嘱託
東京電機大学工学部非常勤講師
国交省主催「船舶産業の変革実現のための検討会」委員
雑誌・書籍などマスメディアや、日本機械学会等のセミナーを通じて設計・開発・モノづくりの評論活動に従事。
著書:「バーチャル・エンジニアリングシリーズ Part1～Part10」(日刊工業新聞社)等。
日本機械学会フェロー

黒瀬 築 先生

2019年3月 九州大学大学院工学府機械工学専攻 博士後期課程 修了

2015年～2016年 日立アプライアンス株式会社 技術開発部
2020年～2023年 東京理科大学 理工学部 機械工学科 助教
2023年～ 横浜国立大学大学院工学研究院システムの創生部門 助教

申し込み方法と会場案内

氏名、ふりがな、卒業年度、卒業学科、メールアドレス、懇親会参加の有・無を明記のうえ、HP申込フォーム又は、下記 名教就美会事務局にメールでお願いいたします。

メール：doso-m@ynu.ac.jp

研修会参加費：500円（同伴者1名無料）、学生無料

懇親会参加費：名教就美会員2000円，その他3000円，学生無料（同伴者1名無料）

